

大分大学「同窓生との合同交流会」in 熊本

大分大学では、平成28年度から新たな取り組みとして、各地区において「大分大学ホームカミングデー」のミニ版を開催することを決定し、平成30年度においては熊本地区で開催する運びとなり、今年は、平成30年11月17日（土）に熊本市にあるANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにおいて「大分大学『同窓生との合同交流会』in 熊本」を開催いたしました。

合同交流会では、各学部・研究科等の同窓生が一堂に会し、始めに同窓会連合会役員及び大分大学の役職者が紹介され、秦政博同窓会連合会会長の挨拶が行われ、引き続いて大分大学と同窓生との情報の共有と一体感の醸成を図るため、各学部等の現状報告が行われました。最後に、西園晃研究・社会連携・国際担当理事からの挨拶があり、同窓会連合会に対して「大分大学と同窓生との懸け橋として、また、入学志願者の拡大や卒業生の就職・再就職支援などにおいてご協力頂き、さらには、『持続的な競争力を持つ高い付加価値を生み出す大分大学への転換』や『在学生への就学支援のための個人からの寄付金など、社会全体からの支援による大分大学の財源の多様化と強化』にもお力添えを賜りたい。」との思いと期待が述べられました。

懇親会においては、秦政博豊友会会長による開会挨拶があり、村上暢敏四極会熊本支部長の乾杯の音頭で開宴し、同窓生が世代や出身学部等を越えた交流が行われ、和やかなひと時を過ごしました。また、途中で豊友会・四極会・玉樹会・翔工会の各同窓生から近況報告等があり、越智義道教育担当理事からは各同窓会に対して卒業生の動向調査に対する協力依頼が行われ、最後は高倉健玉樹会会長の挨拶により宴を閉じました。

地区別合同交流会としては、平成28年度及び平成29年度は福岡にて開催し、熊本での開催は初めてでしたが、「各県での開催は意義があると思います。」「熊本で開催していただき、ありがとうございます。どうしても参加すべきだと思っていました。」「最新の大学の状況が知れて良かったです。」「新しい学部や学科が出来ているのには驚きました。今後は楽しみです。」などの声が同窓生から寄せられ、来年度も新たな地区での開催を目指して企画するようにいたしております。



合同交流会での秦連合会長挨拶



合同交流会会場風景



合同交流会学部現状報告



懇親会での村上暢敏四極会熊本支部長による乾杯の音頭



懇親会会場風景



懇談風景



高倉玉樹会会長の閉会挨拶